

歴史ある ふるさとの夏まつり ～古川七夕まつり～



七日町通りの七夕飾り（昭和20年代）。右奥の白い建物は古川中央映画館。

昨夕は七夕のことにて 町内各戸の軒に笹竹を樹て
短冊何や角と思いに意匠を凝らして祭りたり

〔河北新報〕明治34年8月21日

古川商店街景気挽回の催し 七夕と旧盆を機して 懸賞付
の宣伝計画

〔河北新報〕昭和6年8月3日

古川の町の美観 天国の恋を寿ぐ 人の波全町内をうねる
仙台にも劣らぬ素晴らしい飾付 七夕祭空前の賑わい

〔河北新報〕昭和7年8月9日

七夕は古くから行われている日本の伝統行事で、本来旧暦7月7日の行事でした。江戸時代には五節句（1月7日の人日、3月3日の上巳、5月5日の端午、7月7日の七夕、9月9日の重陽）の一つにも数えられ、一般にも盛んに行われるようになりました。竹竿に飾りをするようになったのも、そのころからといわれています。

明治34年の新聞記事には、各家庭で七夕飾りを飾っていた記述があります。東北では気候の影響からか、新暦の8月に七夕をするようになり、古川の商店街で昭和6（1931）年に、懸賞付の七夕飾り競技会が開催されたことで、この地方の夏を代表する夏のお祭り「古川七夕」の原型が出来上がりました。

しかし、間もなく戦時色が濃くなると街から七夕飾りは消えてしまいます。やがて戦争が終わり、国民が敗戦から立ち上がるうとしている昭和22（1947）年、昭和天皇が全国巡幸された際、古川ではたくさんの七夕飾りで歓迎しました。これが、現在に続く「古川まつり」のはじまりで、ここに「古川七夕」は見事に復活しました。

その後、戦後の復興から商店街の振興や観光イベントとして発展して今日に至ります。今年の「古川七夕」は、地震災害からの復興の願いを込めて、ひととき輝きを増すことでしょう。

おおさき
探訪

vol.29 古川地域
古川七夕まつり

広告 レディースファッション **Fuu**

グティツク **Fuu**

永出しコーヒ
はいかが？

大森や
至一関
エネオス

シャンブル
古川店

国道4号

タマホーム
木村硝子 **Fuu** カインズホーム

Wonder GOO

古川第五小学校
古川南中学校

大崎市古川稲葉字谷地173-1
☎0229-25-4565

広告

はじめよう、
ケーブルテレビの
ある生活。

多彩なチャンネル
楽観が見られる
地域情報が満載
アンテナが不要
光インターネット
低料金・定額制

OPEN

OPEN

大崎ケーブルテレビ

リオーネふらかわショールーム／営業時間 10:00～19:00
お問い合わせ ☎22-6556 □www.oosaki.ne.jp

※大崎市は自主財源確保のために、有料広告を掲載しています。

おおさき

広報

PUBLIC RELATIONS

2008 8
No.29

平成20年8月1日発行
【毎月1日発行】



CONTENTS

02 夏まつり

夏の六崎を楽しもう！

04 8月のイベント、まちかどDCニュース

06 行財政改革の取り組み

08 おおさきインフォ&ニュース

■63年目の夏に 終戦記念日、平和のつどい □イベント情報ほか

12 興味津津 歴史ある水路の灯るう流しと竹灯るう 鹿島台地域竹谷地区

13 情熱大崎 古川音楽鑑賞会代表 友川 廣人さん

14 地震被害による税の減免、納税相談、各種証明書等について

15 大崎市地域自治組織活性化事業交付金「チャレンジ事業」審査結果

16 今月のお知らせ

26 育児相談、乳幼児健診

27 救急当番医

おおさき
探訪

vol.29 古川地域
古川七夕まつり

表紙の写真・色とりどり、趣向を凝らした吹流し
(古川まつり)